

牡丹 ボタン

ボタンは、落葉低木です。薬用植物として日本に渡来しましたが、花の美しさから鑑賞用として親しまれるようになりました。

白神（はくしん） 純白 遅咲き 大輪 千重～万重半抱え咲	島錦（しまにしき） 赤白紋り 千重抱え咲	五大州（ごだいじゅう） 雪白色 千重抱え咲	富貴獅子（ふうきじし） 白に近い薄桃色 八重獅子咲	倚緑（きろく） 桃色 千重抱え咲	踊り子（おどりこ） 濃桃色 千重抱え咲
娘花桜（むすめはなさくら） 八重抱え咲 花弁は印毛目絞り	八千代椿（やちよつばき） 桜色 遅咲き 千重抱え咲	島娘（しまむすめ） 紫紅色 千重 大輪	新天地（しんてんち） 桃紅色 八重抱え咲	秋冬紅（しゅうとうこう） 紅色 八重咲	玉芙蓉（たまふよう） 淡桃色 吹き出しあは潔い色、 次第に淡くなる
吉野川（よしのがわ） 桜色 半抱え咲	花恵比寿（はなえびす） 濃桃色 千重盛り上げ咲き	花籠（はなきそい） 鮮桃色 千重咲き 大輪	博愛（はくあい） 赤色 八重抱え咲き 大輪 やや薄緑色した葉が特徴	大正の光（たいしょうのひかり） 紫紅色 千重抱え咲き 大輪	太陽（たいよう） 純濃紅色 八重抱え咲き
深輝門（しんきもん） 黒みかかった赤色 八重抱え咲	珊瑚界（さんごかい） 濃紅色 千重 花弁の基部に黒赤色の波紋	晃耀殿（こうようでん） 鮮やかな赤色 八重抱え咲	奇世紅（きせいこう） 赤色 千重 大輪 外弁に白色の糸覆輪が入る場合あり	花王（かおう） 紫紅色 万重盛り上がり咲	サンダーボルト 赤褐色 遅咲き 花弁の基部に黒色の波紋がある
島大臣（しまだいじん） 紅色を含む紫色 千重抱え咲	紫式部（むらさきしきぶ） 赤紫色 丸葉牡丹 八重抱え咲	黒の司（くろのつかさ） 紫に近い黒色 大輪 千重抱え咲	鎌田藤（かまたふじ） 藤色 大輪 千重平咲き	ハイヌーン 鮮黄色 遅咲き 花弁の基部に炎の形の波紋	—牡丹の葉の特徴— 葉にツヤがなく、先が3つに分かれてギザギザになっている

芍薬 シャクヤク

シャクヤクは、多年生の草本類です。ボタンと同じく薬用として日本に渡来しました。
草本なので冬は地上部が枯れ、刈取りをします。

白妙（しろたえ） 純白 バラ咲 中大輪	深山の雪（みやまのゆき） 純白 金しべ咲き 大輪	信濃の月（しなのつき） 純白 てまり咲 大輪	ラテンドール 白 花弁の縁が赤 バラ咲	プリマベラ 外弁が白 中心黄色 大輪	ニューアレキサンダー 白 赤色筋紋り
アルプス 純白 八重咲	夕映（ゆうばえ） 濃桃色 八重咲 大輪	満月（まんげつ） 白一重 金しべ咲き	富士（ふじ） 淡赤紫色 大輪 扇咲	肥後芍薬（ひごしゃくやく） 一重一字咲	流の粋（たきのよそおい） 薄桃色で中心白 半八重
信濃の春（しなののはる） 桃色 八重咲 極大輪	春の里（はるのさと） 桃色 八重咲 極大輪	春の粋（はるのよそおい） ピンク色 半八重咲	駒沢（こまざわ） 桃色～サモンピンク	華燭の典（かしょくのてん） 濃い桃色 万重咲	ソルベット 淡桃色とクリーム色の3段咲
ルーズベルト 淡桃色 バラ咲 八重咲	サラベルナル 桃色 手まり咲 巨大輪	紅河（こうが） 濃い赤紫色 八重咲	カンサス（和名：小島の輝き） 赤紫色 八重咲 大輪	リチャード 紫をおびた赤 八重咲	—芍薬の葉の特徴— 葉の形は細長い卵形ないし披針形。葉の質はやわ厚く艶がある。